EPC・施工会社・関係者の皆さまへ

JESM

蓄電所管理システム

安全な復電・確実な監視を、設計段階から一つの仕組みに。

本資料の目的

JESM が管理する蓄電所について、自動運転シーケンス、遠隔監視項目、導入時の役割分担を関係者間で共有し、設計・施工・試運転を円滑に進めるための基本資料です。

SYSTEM OVERVIEW

管理システムの全体像

01 自動運転	02 遠隔監視	03 運用連携
系統停電・復電を検知し、定められたシーケンスで受電設備を復旧。	キュービクル、PCS、蓄電池、EMS の重要情報を JESM 仕様の監視装置へ集約。	電力会社の指示と運用条件に基づき、PCS の起動・復電を実施。

SEQUENCE

停電から復電までの基本シーケンス

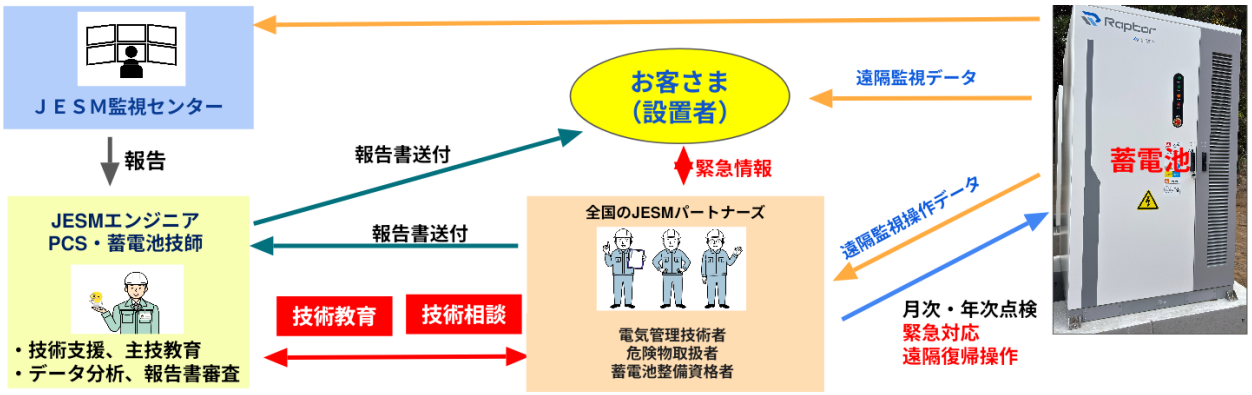
1. **系統停電を検知**
   系統停電の発生により、蓄電所が停電します。
2. **系統復電を確認**
   UVR が系統の復電を検知します。
3. **変圧器を充電**
   エネセーバーを投入し、変圧器を充電します。
4. **PCS の運転を再開**
   電力会社からの復電指示に基づき、PCS へ起動コマンドを送り、運転を再開します。

重要：詳細なインターロック、復電条件、タイマー値、操作権限は、設備仕様および電力会社との運用条件を踏まえて個別協議します。

監視の仕組み

通常時　蓄電所は現地の電気管理技術者が管理します。点検結果は JESM 監視センターへ報告し、JESM の審査後、お客さまへ報告します。

不具合発生時　停電時は電気管理技術者が遠隔復帰操作または現地へ駆け付けて復旧します。必要に応じ、JESM エンジニアと Web で相談しながら対応します。



RESPONSIBILITIES

導入時の役割分担

JESM	EPC・施工会社
監視装置・通信回線の手配 通信回線：NTT ドコモ LTE 網	監視装置の組み込み・接続 自動運転・操作回路の施工

MONITORING POINTS

遠隔監視装置へ取り込む情報

JESM 仕様の遠隔監視装置に、次の信号を取り込めるよう設計・施工をお願いします。

キュービクル	系統電圧／負荷電流／DGR／UVR／OCR／OVGR／VCB
PCS	運転状態／軽故障／重故障
蓄電池	運転状態／軽故障／重故障
EMS	運転状態／軽故障／重故障 など

IMPLEMENTATION FLOW

導入までの流れ

1	2	3	4
仕様確認	**設計協議**	**施工・組込み**	**試験・運用開始**
監視点数・信号仕様・回路条件を共有	シーケンス、接続、役割分担を確定	監視装置と操作回路を設備へ実装	信号・動作を確認し、管理運用へ移行

DESIGN COORDINATION

設計・施工前にご確認ください

- 監視対象機器の型式、信号種別、接点条件、通信方式
- 単線結線図、シーケンス図、端子台図、I/O リスト
- 停電・復電時のインターロック、タイマー、手動／自動の切替条件
- 電力会社との運用申し合わせおよび PCS 起動条件

詳細仕様は、案件ごとの設備構成に応じて別途お打ち合わせのうえ決定します。

JESM 株式会社　TEL 090-2717-6717　メール　jesm@jesmcoltd.com　https://www.jesmco.com